

# 全国タウンセールへの**想**い

町は再興できるのに、なんともったいない!ということだった。

そうした視点から私が、いま商店街活性化のために実験店舗を構えている横浜の大口通商店街の空き店舗に全国の町村アンテナショップ構築の構想が浮かんだのだった。

とりかかってみると、いろんな問題点がそこにはあった。

## 『自分の町を売りこみたい!』

生産者も、自治体も、その熱が希薄だったことだ!  
実際に行動に移し、横浜に来る者は皆無だった。

また、受け入れ側の商店街の方にも様々な問題点があった。

私が本業で店を構える、横浜中央卸売市場の市場祭でも  
数か所の地方自治体に来ていただいたが、その後が結局続かなかった!  
そして、私は、この計画をしばし棚上げしたのだった。

再挑戦は、空き店舗を使う発想からできた。  
横浜大口通り商店街にある私の店舗「濱の市」を使う形で  
2011年9月18日から全国タウンセールを開始した。  
それが、11月12日、「秋田県フェア」へとつながって行った。

四季折々の素晴らしい日本の自然とともにくらし、人の絆とともに生きる  
この地方、田舎の暮らし方こそ、これからの日本の、アジアの  
いや世界の人の暮らし、生活モデルだと確信をしている。

生産者が自分の生産物に物語を紡いで、  
地方の素晴らしさをそれに乗せて是非、  
横浜へひけらかしに来てほしい!

濱の市 坪倉良和

